

なかがみ

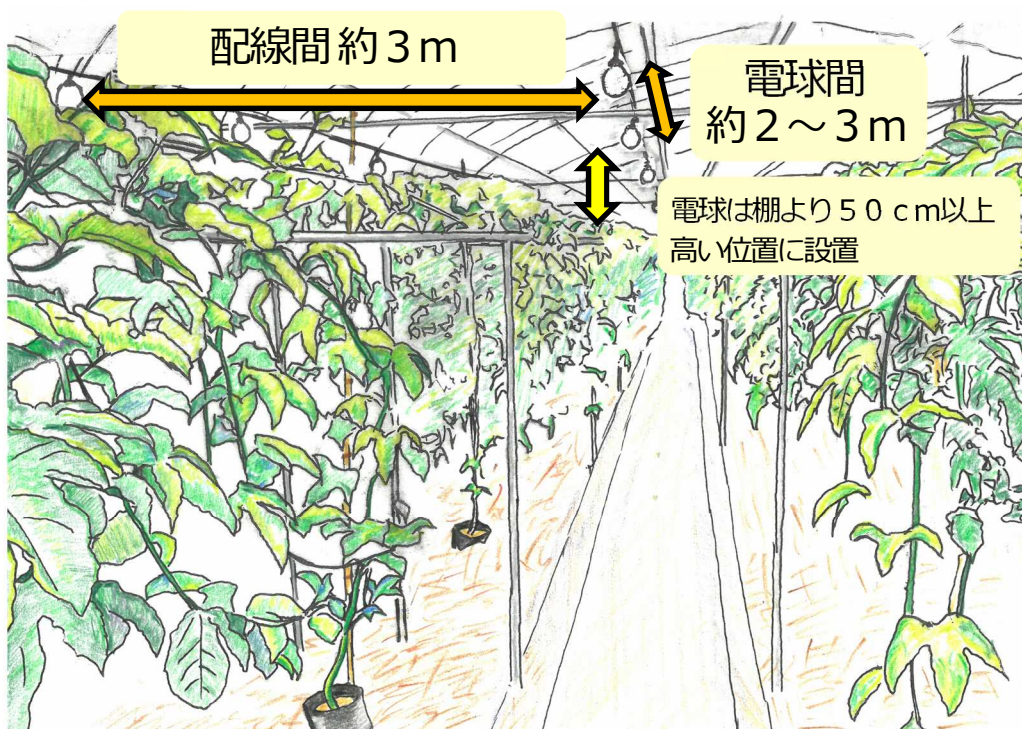
第138号

編集と発行
中部農業改良普及センター
〒904-2155 沖縄県沖縄市美原1丁目6番34号
(沖縄県中部合同庁舎2階)
電話 098-894-6521
FAX 098-937-2502

パッションフルーツの電照栽培 ～電照配置と電照時間～

パッションフルーツの施設栽培では電照栽培を行うことにより、自然日長が12時間以下になる9月下旬から3月においても長日条件を確保することができ、花芽形成・開花を促すことができる。電照照度は20lux以上、電照時間2時間以上、電照期間50日以上が効果的である。

電球は75W白熱球（電照菊用）を用いるのが基本だが、LED電球を用いて電気料金を抑える動きがある。ただし、LED電球では光が届きにくい箇所に出蕾を十分に促せない場合があるので、その際は電球又は配線数を増やす、電照時間を延長する等が必要となる。



- ・電照時間は、9～12月は3時間、1～3月は4時間を目安とする。
- ・電気料金が安い夜間電力を利用（23:00以降に点灯）する。
- ・パッションフルーツの秋冬期における花芽分化条件は、日中温度20℃以上、明期時間11時間/日以上(山の日陰等により明期が短くなることが想定される場所では自然日長が12時間以下になる頃から電照を開始する)。低温期は側面ビニールを下げハウス内温度を確保する。

キク類の病気について ~予防につとめよう~

キク類の病気は季節や気温、降水量等によって発生の程度が変わります。

下の表は沖縄県那覇市の平均気温と病気の発生適温から病気が発生しやすい時期を色で示しました。特に**赤色**の時期は、病気発生の可能性が高くなる傾向にありますので注意が必要です。

病名	病原体名		発病適温からみた発生期間(月)													
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
立枯病	<i>Rhizoctonia</i>	リゾクトニア(菌)		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
立枯病	<i>Pythium</i>	ピシューム(菌)		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
疫病	<i>Phytophthora</i>	フィトフトラ(菌)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
白絹病	<i>Sclerotium</i>	スクレロチウム(菌)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
炭疽病	<i>Colletotrichum</i>	コレトリカム(菌)					■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
褐斑病	<i>Septoria</i>	セプトリア(菌)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
黒斑病	<i>Septoria</i>	セプトリア(菌)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
灰色かび病	<i>Botrytis</i>	ボトリチス(菌)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
白さび病	<i>Puccinia</i>	プクシニア(菌)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
菌核病	<i>Sclerotinia</i>	スクレロチニア(菌)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
半身萎凋病	<i>Verticillium</i>	バーティシリウム(菌)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
萎凋病	<i>Fusarium</i>	フザリウム(菌)	不明													
葉枯病	<i>Fusarium</i>	フザリウム(菌)	不明													
青枯病	<i>Ralstonia</i>	ラルストニア(細)				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
斑点細菌病	<i>Pseudomonas</i>	シュードモナス(細)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
花腐細菌病	<i>Pseudomonas</i>	シュードモナス(細)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
軟腐病	<i>Erwinia</i>	エルウィニア(細)					■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
緑化症	<i>Phytoplasma</i>	ファイトプラズマ	不明(媒介虫の発生する時期)													
わい化病	<i>stunt viroid</i>	ウイロイド				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

農薬には予防効果と治療効果を示す剤があるので、発生状況に応じて使い分け、効果的な農薬散布で病気発生のリスク軽減と蔓延予防に努めることが重要です。同じ種類、系統を連続して散布すると、耐性菌が出る可能性が高くなり効きにくくなるので要注意です。また、キクに被害を及ぼす**「クロゲハナアザミウマ」**に対して、粒剤の施用と定期的な薬剤のローテーション散布が効果的です。アザミウマ類はほ場内部だけでなく周辺雑草(寄生雑草:センダングサ、オニタビラコ、オオアレチノギク)にも潜んでいることから、除草防除にも努めましょう。



クロアゲハナアザミウマの成虫

(農業技術班 小山 裕美子)



畜産情報



暑熱対策

沖縄気象台の気温の予想では、
 今年の7月は 平年より**高く**、
 8月は 平年並み か **高く**、
 9月は 平年より**高く**
 なることが予想されています。

6月～8月の平均気温は肉用牛にとって好ましい気温である「適温域」を上回っています。7月～9月の日最高気温は肉用牛の生産に影響をおよぼす「生産環境限界温度」と同程度となっています。日最低気温でも24℃以上あり、牛にとっては不快な日々が続きます。暑熱ストレスによる生産性の低下を防止するために、肉用牛が快適に過ごせる環境を作りましょう。

沖縄県（那覇）の平均気温（℃）

	平均気温	日最高気温	日最低気温
6月	26.8	29.4	24.8
7月	28.9	31.8	26.8
8月	28.7	31.5	26.6
9月	27.6	30.4	25.5

肉用牛の適温域と生産環境限界温度（℃）

	適温域	生産環境限界温度	
		低温	高温
ほ乳子牛	13~25	5	32
育成牛	4~20	-10	32
繁殖牛	10~15	-10	30
肥育牛	15~25	5	30

体温が上昇し暑熱ストレスを受けると・・・

- 採食量の低下 → **増体量が低下する**
- 発情徴候の微弱化・受胎率の低下 → **空胎期間の延長**
- ★ 暑熱の影響は2ヶ月先の繁殖性まで影響します！

経済的な損失！

ポイント！



- 水は牛が**飲みたい**ときに**飲める所**にありますか？
- 高温時は飲水量が増えるため、**清潔で十分な飲水**を確保しましょう



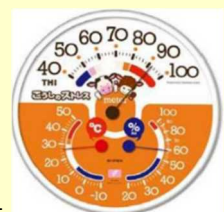
- 風通し**を邪魔するものは置かれていませんか？
- ファンの**風**は牛に当たっていますか？
- ファン**や**噴霧器**の活用で気温上昇を抑えましょう



- 日陰**を作りましょう
- 屋根への**散水**や**石灰塗布**で気温上昇を抑えましょう

こんな機器もあります → 「子牛のストレスメーター」

宮崎県畜産試験場とエンパックス気象計株式会社が共同開発した子牛のストレスメーターは、体温調整に影響する気温と湿度を総合的に評価した THI という指標により一目で子牛の暑熱ストレス度が分かります。THI 71 以上になると子牛の DG が低下することが分かっています。〈参考〉価格：8,800円（税込）販売：エンパックス気象計株式会社



（農業技術班 高江洲 千沙）

新型コロナウイルス感染症でお困りの農業者の皆様へ

各種支援があります。ご自身に当てはまる内容について、是非ご活用下さい。

1. 安全・安心な島づくり応援プロジェクト奨励金【支給額 一律10万円/事業者】

- 申請要件：① 沖縄県内の主たる事業所又は従たる事業所を有する中小企業及び個人事業主で、県が既に実施したコロナウイルス感染症防止関連の支援金や協力金を受給していない事業者
 ② 今後も事業を継続する意志があり、沖縄県が求める『新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン』を作成し、その内容に沿った対策を実施する事業者
 ③ 令和2年4月1日以前に事業を開始し、下記の通り収入が減少している事業者

	条件期間	要件
業歴が1年以上	令和2年2月～5月	前年同月比で月別売上が減少した月がある
業歴が1年未満	令和2年4月又は5月	月別売上がそれ以前の月より減少している

受付期間：令和2年7月16日(木)～令和2年8月31日(月)

提出方法：オンライン申請 又は 郵送

問 合 先：沖縄県感染症対策奨励金 コールセンター 098-987-4507

詳細情報：『安全・安心な島づくり応援プロジェクト/沖縄県』でネット検索して下さい

2. 高収益作物次期作支援交付金 上乗せ支援【支給額 最大3万円/10a】

(園芸作物再生産支援事業、花き生産者に対して、次期作における生産にかかる資材の支援)

※申請が想定の面積を越えた際は、補助額が減額となる場合があります。

3. 農業経営継続補助金 【上限150万円/事業者、共同申請上限1,500万円】

問合先(支援機関)：農業協同組合、農業経営相談所、沖縄県農業会議所

(農業会議所が支援機関となる場合は、普及センターが計画書の作成を支援しています)

※2次受付期間：令和2年9月中旬目途(1次募集の採択・不採択決定通知後)～10月中旬

4. 雇用調整助成金

事業活動の縮小等により、一時的な雇用調整(休業、教育訓練または出向)を実施することによって、従業員の雇用を維持した場合に助成。(問合先：沖縄助成金センター 098-868-1606)

5. 農業者向け金融支援策(下記内容①～④で対応資金があります)

- ① 減収等により当面の資金繰りにお困りの方
- ② 既往債務の返済にお困りの方(最初に既往債務の償還猶予等について、借入金融機関に御相談下さい)
- ③ 新たに販路拡大や省力化等の施設整備に取り組まれる方
- ④ 新型コロナによる減収により、一時的な生計維持が困難な方(少額生活費用の貸付)

問合先	お住まいの市区町村社会福祉協議会	最寄りの沖縄金融開発公庫				最寄りのJAおきなわ窓口	
		農林漁業セーフティネット資金	スーパーL資金	経営体育成強化資金	農林漁業施設資金	農業近代化資金	農業経営負担軽減支援資金
内容	①	○	○	○		○	
	②		○	○			○
	③		○	○	○	○	
	④	○					

今回掲載できなかった支援策や新たな支援策についても確認できますので、下記のホームページもご確認下さい。

<https://corona.go.jp/action/> (政府)

沖縄県知事公室 広報課 ホームページ

(普及企画班 比嘉 久美子)